

平成31年度佐賀大学一般選抜入学試験 個別学力試験 出題意図

科目：**国語（教育学部・前期）**

1 科目全体の出題意図

本年度も現代文、古文、漢文から各一問ずつの出題とした。どの問題も高等学校で学習する内容から出題し、国語の基礎的知識とその応用力を問うものとした。

現代文は、近代以降の文章を題材とし、二箇所の部分と比較したり関連づけたりしながら文章を読解するための基礎的能力と、読み取ったことを適切に表現する能力を問うことを意図して出題した。

古文は、鎌倉時代の説話集を題材として、主語や文法事項など高等学校で学習する基本的な事項を習得しているか、登場人物の心情や行為の理由など内容を正確に読み取ったうえで読解する力が養われているか、などを問うことを意図して出題した。

漢文は、平易な表現で書かれた物語性のある散文を題材とし、高等学校までに学習する漢語語彙の読み方や意味を理解しているか、漢文句型の訓読法と解釈法を正確に習得としているか、また文脈の流れや全体の主旨を把握できるか、などを問うことを意図して出題した。

2 設問ごとの出題意図

【一（現代文）】

現代文は、近代以降の文章を題材とし、二箇所の部分と比較したり関連づけたりしながら文章を読解するための基礎的能力と、読み取ったことを適切に表現する能力を問うことを意図した。

【二（古文）】

古文は、鎌倉時代の鴨長明による説話集を題材として、高等学校で学習する文法事項の基礎力や、文章の内容が正確に読み取れる力を問うとともに、内容理解に関わる設問をいくつか設けて、深い内容読解の力を問う。

【三（漢文）】

ストーリー性があり、表現が平易な散文を題材とし、高等学校までに学習する漢語語彙の読み方や意味を理解しているか、また漢文句型の訓読法と解釈法を正確に習得としているか、また文脈の流れや全体の主旨を把握できるか、などを問う。